

商都大阪を築いた薩摩藩士

# 五代友厚誕生地

を整備しました



昭和46年に道路上に設置された誕生地の石碑を広場内に移設しました。  
 石碑周りの黒褐色の石張りは、「五代」の名字に因んで五角形の形状とし、桜島の溶岩石を使用しました。  
 また、石碑は新たに花棚石で製作した台座の上に設置し、五代友厚が大阪商工会議所の前身である大阪商法会議所の初代会頭を務めるなど、大阪の商工業の発展に貢献し、「大阪の恩人」と呼ばれていることから、この誕生地からゆかりの深い大阪（大阪商工会議所）の方向に向けて設置しました。



■ 事業概要  
 事業名：五代友厚誕生地整備事業  
 目的：市民や観光客が憩える多目的広場として整備  
 施行年度：平成28年度  
 所在地：鹿児島市長田町31番地ほか  
 広場面積：約1,000㎡  
 事業費：約3,500万円  
 施設概要：石碑移設、観光案内板移設、休憩所、ベンチ、水飲み場、多目的トイレ、土系舗装、ブロック舗装、照明灯



- ◆年譜
- 1835年 薩摩国鹿児島郡城ヶ谷（長田町）で、薩摩藩儒臣・五代直左衛門秀堯の二男として誕生、幼名徳助のちに才助
  - 1846年 藩の聖堂（造士館）に入り文武修業
  - 1848年 世界地図を模写、地球儀を自作する
  - 1854年 藩の郡方書役となる
  - 1857年 長崎へ留学
  - 1863年 薩英戦争で英艦の捕虜となり、横浜で開放されるも脱藩者とみなされ潜居
  - 1865年 留学生を率い渡英、モンブランと貿易商社設立交渉
  - 1868年 大阪府判事となる、大阪造幣寮設置に尽力
  - 1869年 会計官権判事（横浜転勤）の命に大阪官民挙げて留任運動が起こり、官を辞して商都大阪の建設を決意
  - 1870年 友厚を名乗る、官途就任を拒絶
  - 1878年 大阪株式取引所設立、大阪商法会議所を創設し初代会頭となる
  - 1880年 大阪商業講習所（現大阪市立大学）創設
  - 1884年 阪堺鉄道会社・神戸棧橋会社設立
  - 1885年 9月25日 東京築地の別邸で死去、49歳